



2024年8月・9月受入

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

「姫路市埋蔵文化財調査年報

2023 TSUBOHORI」

姫路市埋蔵文化財センター

「能登半島地震による金沢城石垣の被災」

富田和気夫/編

文化財石垣保存技術協議会

「毛利・織田戦争と城郭」

高橋成計

ハーベスト出版



「隠岐の山城 続出雲の山城」

高屋茂男/編

ハーベスト出版

「江戸幕府の絵図からみた初期松江城」

稲田信 小山祥子 西尾克己/編

ハーベスト出版

「湯築城と伊予の中世」

川岡勉 島津豊幸/編

創風社

「井伊直弼・伊達宗紀密談始末」

宇和島伊達文化保存会/監

創泉堂出版

「伊達宗城隠居関係史料 改訂版」

宇和島伊達文化保存会/監

創泉堂出版

「伊勢参宮日記を読む 北部九州編」

甲斐素純

海鳥社

「背振山信仰の源流」

吉田扶希子

中国書店

「京都の町家と聚楽第」

丸山俊明

昭和堂

「本土寺と戦国の社会」

松戸市立博物館

「熊本城～復興に向けて～令和6年春夏号」

熊本市熊本城調査研究センター

「図説 栃木の城郭」

余湖浩一

国書刊行会





今月のおすすめ本紹介！！



「江戸大名の本家と分家」

野口朋隆 吉川弘文館

江戸時代の武家社会において、本家が分家を創出することは「家」の存続にとって極めて重要な意味を持っていた。では、本分家の関係性はどのようなものであったのだろうか。また、江戸幕府の成立後、大名家は徳川家との主従関係を結ぶことで領土を安堵しており、徳川家と築く関係性にも重要な意味を持った。本書では、全国の大名家における分家が、本家や徳川家とどのような関係を築いたのか、豊富な事例を紹介し、その関係性を明らかにしている。

「研究紀要 金沢城研究 第22号」

石川県金沢城調査研究所

本書で紹介されている「城郭石垣の石積み技法とその強度評価」では、石垣の築石部の構造形態とその力学的な安定要因について述べている。安定性の高い積み方はいくつか、実験結果を基に考察されており、築石と築石の間に入れる間詰石の有無、築石の控えに入れる飼石の有無による石垣の安定性への影響を明らかにしている。さらに石積み技能者の、修復時における留意点や個人的に順守してきた技能についてインタビューした成果も、参考として考察に加えられている点が面白い。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物がたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/>